

イギリス

1c.~7c.

政治・外交

文化

1

BC7c.~ ケルト人の移住
BC1c. ローマのカエサルへの侵入

59 ローマ(ネロ帝)の属州ブリタニアが成立

2

ブリタニアにハドリアヌスの城壁(二重の長城)ができる

3

ローマ帝国領

212 カラカラ帝のアントニヌス法、属州の全自由民にローマ市民権

293 ディオクレティアヌス帝が四分統治開始

4

324 コンスタンティヌス帝が帝国を再統一
330 ローマ帝国がコンスタンティノープル遷都

375 ゲルマン人の大移動開始

395 ローマ帝国が東西に分裂、イギリスは西ローマ帝国領

5

449 アングロ=サクソン人(デンマークからのゲルマン人)の侵入開始

476 オドアケルにより西ローマ帝国が滅亡

6

アングロ=サクソン七王国(ヘプターキー)時代が始まる

ca.597 キリスト教伝来

7

七王国時代

イギリス

8c.~14c.

		政治・外交	文化
8	七王国時代	789 ノルマン人が初めてイギリスに侵入	ca.735~804 アルクイン (カール大帝(仏)に仕える)
9	(ウェセックス王国)	829 ウェセックス王のエグバートがイングランドを統一	
		850 デーン人が初めてイギリスに侵入 871 アルフレッド大王が即位(位~899) アルフレッド大王、デーン人を撃退	
10			
11	デーン朝	1016 デンマーク(デーン人)王子のクヌートがイングランドを征服(位~1035)、デーン朝創始	
	ウェセックス	1042 エドワード懺悔王(位~1066)が即位、アングロサクソンの王家(ウェセックス王家)が復活 1066 エドワード懺悔王が死去、ハロルドが即位 1066 ノルマンディー公ウィリアムがハロルドを破り(ヘースティングズの戦い)、ウィリアム1世として即位(位~1087)、ノルマン朝を創始(=ノルマン・コンクウェスト) 1086 ドゥームズデイ=ブック(検地帳)が完成 1087 ウィリアム2世が即位(位~1100) 1100 ヘンリ1世が即位(位~1135)	1033~1109 アンセルムス(実在論)
12	ノルマン朝	1135 スティーブンが即位(位~1154) 1154 アンジュー伯アンリがヘンリ2世として即位(位~1189)、プランタジネット朝を創始	『アーサー王物語』 オクスフォード大学創立(神学)
	プランタジネット朝	1189 リチャード1世(獅子心王)即位(位~1199) 1189~92 第3回十字軍(サラディンと講和) 1199 ジョン(欠地王)が即位(位~1216) 仏(フィリップ2世)に敗れて領土縮小 1209 ローマ教皇インノケンティウス3世に破門される 1215 マグナ=カルタを承認 1216 ヘンリ3世が即位(位~1272)	ケンブリッジ大学創立(神学)
13		1258 シモン=ド=モンフォールの反乱 1265 シモン=ド=モンフォールの議会を承認 1272 エドワード1世が即位(位~1307) 1282 ウェールズを併合(1284説も) 1295 模範議会を召集	ca.1214~1294 ロジャー=ベーコン (哲学者・自然科学)
14		1307 エドワード2世が即位(位~1327) 1327 エドワード3世が即位(位~1377) 1337 フランス王位の継承権を主張 1339 百年戦争(対仏)が開始 1346 クレシーの戦いでエドワード黒太子の長弓隊が活躍 1347~1350 全ヨーロッパで黒死病が流行 二院制議会が開かれるようになる 1377 リチャード2世が即位(位~1399) 1381 ワット=タイラーの乱「アダムが耕し、イヴが紡いだ時、誰が領主であったか」(ジョン=ボール) 1399 ランカスター公がヘンリ4世として即位(位~1413)、ランカスター朝創始	ca.1290~ca.1349 ウィリアム=オブ=オッカム(唯名論) 1378 ウィクリフが聖書を英訳 チョーサー『カンタベリ物語』

イギリス

15c.~18c.前半

		政治・外交	文化
15	ランカスター朝	1413 ヘンリ5世が即位(位~1422) 1422 ヘンリ6世が即位(位~1461) 1429 仏にジャンヌ=ダルクが出現、オルレアンが解かれる 1453 カレーを除いて仏から撤退、百年戦争終結 1455 パラ戦争が勃発 1461 ヨーク公がエドワード4世として即位(位~1483)、ヨーク朝創始	1414~1418 コンスタンツ公会議 ウィクリフの教説を異端に
	ヨーク朝	1483 エドワード5世が即位、まもなくリチャード3世が即位(位~1485) 1485 ヘンリ7世が即位(位~1509)、テューダー朝創始、パラ戦争終結 1487 皇室庁を創設、貴族を抑圧して絶対王政の基礎に 1497・1498 カボット(父)が北米(ケープ・ブレトン島)・グリーンランド・ニューファンドランド到達	
	テューダー朝	1508・1509 カボット(子)がハドソン湾などを探検(カボット父子は英在住の伊人) 1509 ヘンリ8世が即位(位~1547) 第1次囲い込みが進行 1521 ヘンリ8世、ルターに反論し、教皇から「信仰の擁護者」の称号を受ける 1527 ヘンリ8世、キャサリンとの離婚問題で教皇と対立 1534 首長法(国王至上法)を制定 1547 エドワード6世が即位(位~1553) 1553 メアリ1世が即位(位~1558)、カトリックに復帰して宗教改革者を処刑へ 1558 カレーを失う 1558 エリザベス1世が即位(位~1603) 1559 統一法を制定 1577~1580 ドレークの世界周航 1584 ヴァージニアに植民を開始 1585 オランダ独立戦争のオランダへ援軍を派遣 1587 メアリ=ステュアートの処刑 1588 スペイン無敵艦隊アルマダを撃退(このころ、ドレークやホーキンスの活躍)	トマス=モア『ユートピア』 1534 イギリス国教会が成立 1535 トマス=モア処刑 1549 一般祈禱書を制定 1559 国教会が確立 1564~1616 シェイクスピア
17	ステュアート朝	1603 スコットランド王ジェームズ6世、ジェームズ1世として即位(位~1625)、ステュアート朝創始 1607~1611 ハドソンが北米(ハドソン湾など)を探検 1618~1648 三十年戦争 1620 ピルグリム=ファーザーズ、ニューイングランド植民地建設 1621 王権神授説を唱えて専制政治をするジェームズ1世に議会が大抗議 1625 チャールズ1世が即位(位~1649) 1628 議会を召集、権利の請願を可決 1629 議会を解散、1640まで議会が開かれず 1637 スコットランドに国教を強制して反乱がおこる 1640 マドラスに要塞建設 1640 短期議会を召集・解散、その後長期議会を召集 1641 大諫奏、アイルランド反乱 1642~1649 ピューリタン革命、クロムウェルの鉄騎隊の活躍 1648・49 長老派追放・水平派鎮圧 1649 チャールズ1世を処刑、共和制を樹立 1649 アイルランド征服 1651 航海法発布 1652 第1次英蘭戦争 1653 長期議会解散、クロムウェルの護国卿就任 1658 クロムウェル没 1660 チャールズ2世が即位(位~1685) 1661 ボンベイ獲得 1664 蘭からニューアムステルダムを奪ってニューヨークと改名 1665~1667 第2次英蘭戦争 1667~1668 南ネーデルラント継承戦争(西側、対仏) 1670 ルイ14世とドーヴァーの密約 1672~1678 オランダ戦争(仏側→蘭側) 1672~1674 第3次英蘭戦争 1673 審査法制定 1679 人身保護法制定 ホイッグ・トーリの両党が成立 1685 ジェームズ2世が即位(位~1688)、カトリック復活を画策 1688 名誉革命、ジェームズ2世が亡命 1689 権利の宣言を承認、メアリ2世(位~1694)とウィリアム3世(位~1702)が即位、共治。 権利の章典を制定 1690 カルカッタに商館建設 1688~1697 ファルツ継承戦争(独側、対仏) 1689~1697 ウィリアム王戦争	1561~1626 F.ベーコン(帰納法) 1578~1657 ハーヴェー(血液循環) 1589~1653 フィルマー 1588~1679 ホブズ『リヴァイアサン』 1608~1674 ミルトン『失樂園』 1628~1688 バンヤン『天路歷程』 1626~1691 ボイル(ボイルの法則) 1642~1727 ニュートン『プリンキピア』
	共和政		
18	ステュアート朝	1702 アンが即位(位~1714) 1701~1713 スペイン継承戦争(澳側、対仏) 1702~1713 アン女王戦争(対仏) 1707 スコットランドと合同、大ブリテン王国成立 1713 ユトレヒト条約(仏からハドソン・アカディア・ニューファンドランドを獲得) 1714 ジョージ1世(ハノーヴァー公)が即位(位~1727)、ハノーヴァー朝を創始 1721 ウォルポール内閣が成立(~1742)、責任内閣制が成立 「国王は君臨すれども統治せず」 1727 ジョージ2世が即位(位~1760) 1740~1748 オーストリア継承戦争(澳側、対仏普西) 1744~1748 ジョージ王戦争(対仏) 1748 アーヘンの和約 1744~1761 カーナティック戦争	1632~1704 ロック『市民政府二論』 1710 ニューコメンが蒸気機関を発明 1660~1731 デフォー 『ロビンソン=クルーソー』 1667~1745 スウィフト 『ガリヴァー=旅行記』 1733 ジョン=ケイが飛び桴を発明
	ハノーヴァー朝		

イギリス

18c.後半～20c.

	政治・外交	文化
18	<p>このころ、大西洋三角貿易を形成 第2次囲い込みがさかん 1755～1763 フレンチ=インディアン戦争(対仏) 1756～1763 七年戦争(普側、対奥仏西) 1757 プラッシーの戦い 1760 ジョージ3世が即位(位～1820) 1763 1763年パリ条約 1767～1799 マイソール戦争 1773 茶法、ボストン茶会事件 1775～1783 アメリカ独立戦争 1775～1818 マラーター戦争 1783 1783年パリ条約 1783 小ピット内閣成立(～1801,1804～1806)</p> <p>1793 マカートニーが乾隆帝に自由貿易要求 1793～1797 第1回対仏大同盟(英普奥露西蘭) 1799～1802 第2回対仏大同盟(英奥露土葡)</p>	<p>1728～1779 クック(太平洋探検) 1764 ハーグリーヴス、ジェニー紡績機 1769 アークライト、水力紡績機 1769 ワットが蒸気機関を改良 1723～1790 アダム=スミス『諸国民の富』 1779 クロンプトン、ミュール紡績機 1785 カートライト、力織機 1798 マルサス『人口論』出版 1749～1823 ジェンナー(種痘法)</p>
19	<p>1801 アイルランド議会を併合、連合王国が成立。ユニオンジャック制定 1802 アミアンの和約 1805 第3回対仏大同盟(英奥露スウェ) 1805 トラファルガー海戦 1807 奴隷売買を禁止 1811～1817 ラダイト運動 1812～1814 米英戦争 1813～1814 第4回対仏大同盟 1813 東インド会社の対印貿易独占権を廃止 1814 ウィーン会議 1815 四国同盟(英奥普露)、1818に仏が加わり五国同盟へ 1915 穀物法 1816 アマーストが嘉慶帝に自由貿易要求 人身保護法廃止 1820 ジョージ4世が即位(位～1830) 1822～1827 カニングが外相を務める 1827 ギリシア独立戦争(1821～1829)に介入 1828 審査法廃止 1829 カトリック教徒解放法 1830 リヴァプール・マンチェスター間に鉄道開通 1830 ウィリアム4世が即位(位～1837) 1831～1833 第1次エト戦争 1832 第1回選挙法改正(腐敗選挙区廃止・産業資本家に参政権) 1833 奴隷制廃止、工場法制定、東インド会社の対印商業活動停止、対中貿易独占権廃止 1837 ヴィクトリア即位(位～1901) 1837 人民憲章、チャーティスト運動開始 1838～1842 第1次アフガン戦争 1839～1840 第2次エト戦争 1840 ニュージーランド併合 1840～1842 アヘン戦争 1842 南京条約 1843 虎門寨追加条約 1845～1849 シク戦争 1846 穀物法廃止(コブデン・ブライトの尽力) 1849 航海法廃止 1851 第1回万国博覧会 1854～1856 クリミア戦争(オスマン側・対露) 1856 1856年パリ条約 1857～1859 インド大反乱 1858 ムガル帝国滅亡、東インド会社を解散、インドを直轄地に 1856～1860 アロー戦争 1858 天津条約 1860 北京条約 1860～1872 マオリ戦争 1863 ロンドン地下鉄開通 1864～1876 第1インターナショナル(ロンドン) 1867 第2回選挙法改正 カナダを自治領に 1868 グラッドストーン自由党内閣成立(～1874) 1874 第2次ディズレーリ保守党内閣成立(～1880) このころから「世界の銀行」・3C政策 1875 スエズ運河株買収 1877 インド帝国成立、ヴィクトリアがインド皇帝に 1878 ベルリン会議 1878～1880 第2次アフガン戦争、保護国化 1880 第2次グラッドストーン自由党内閣成立(～1885) 1881～1882 ウラービーの反乱 1882 エジプトを事実上保護国化 1884 第3回選挙法改正 1884 フェビアン協会設立 1884 ベルリン会議(アフリカ分割) 1885 インド国民会議が成立 1886 ビルマを併合 1890 セシル=ローズがケープ植民相に 1881～1898 マフディー派の抵抗 1895 マレー連合州を結成 1895 ジョセフ=チェンバレンが植民相に 1898 ファショダ事件 1898 威海衛・九竜半島租借 1899～1902 南アフリカ戦争 1900 義和団事変、清が宣戦布告</p>	<p>1772～1823 リカード(古典派経済学) 1814 スティーヴンソンが蒸気機関車改良 ロバート=オーウェン 1788～1824 バイロン 1766～1844 ドルトン(原子説) 1791～1867 ファラデー(電磁誘導) 1806～1873 J.S.ミル 1809～1882 ダーウィン『種の起源』 1812～1870 ディケンズ『二都物語』 1813～1873 リヴィングストン 1841～1904 スタンリー</p>
20	<p>1901 エドワード7世が即位(位～1910) 1901 北京議定書 1901 オーストラリア連邦成立 1902 日英同盟 1904 英仏協商 1905 シン=フェイン党結成 1905 ベンガル分割令 1906 全インド=ムスリム連盟成立 労働党結成 1907 英露協商 1910 ジョージ5世が即位(位～1936) 1910 南アフリカ連邦成立 1911 議会法(下院の優越) 1914 アイルランド自治法(施行延期) 1914～1918 第一次世界大戦 1915 フサイン=マクマホン協定 1916 サイクス=ピコ協定 1916 バルフォア宣言 1917 王朝名をウィンザー朝に 1918 第4回選挙法改正(女性参政権) 1918～1922 対ソ干渉戦争 1919 パリ講和会議(ロイド=ジョージ)、ローラット法・インド統治法、第3次アフガン戦争→アフガン独立 1920 国際連盟発足 1921～1922 ワシントン会議 1922 アイルランド自由国(自治領)成立、エジプト独立 1924 第1次マクドナルド労働党内閣成立、ソ連承認 1928 第5回選挙法改正(男女平等普通選挙) 1929 第2次マクドナルド労働党内閣成立 1929 世界恐慌開始 1930 ロンドン会議 1930～1932 英印円卓会議 1931 マクドナルド挙国一致内閣成立、ウェストミンスター憲章で英連邦成立 1932 オタワ会議、スターリング=ブロック形成 1935 インド統治法 1936 1月にエドワード8世即位、12月にジョージ6世即位(位～1952) 1937 エール成立 1938 ミンヘン会談 1939～45 第二次世界大戦 1940 チャーチル内閣成立 1941 大西洋上会談、大西洋憲章 1943 カサブランカ会談、カイロ会談、テヘラン会談 1944 ルマンディー=上陸、ダンパート=オクス会議 1945 ヤルタ会談、サンフランシスコ会議、ポツダム会談 1945 国際連合成立 アトリー労働党内閣成立 1946 鉄のカーテン演説 1947 インド独立法 1948 ビルマ独立 1949 アイルランド共和国成立(英連邦離脱) 1951 チャーチル保守党内閣成立 1952 エリザベス2世即位(位～現在) 53 モサデグ、石油国有化宣言 55 イーデン内閣成立 1955 ジュネーヴ四巨頭会談 1956 ナセルのスエズ運河国有化宣言、第2次中東戦争 1960 ヨーロッパ自由貿易連合(EFTA)成立 1963 マレーシア連邦成立 1963 EEC加盟失敗 1969 北アイルランド紛争始まる 1973 EU加盟 1979 サッチャー保守党内閣成立(～1990) 1982 フォークランド戦争(対アルゼンチン) 1984 サッチャー訪中 1991 湾岸戦争 1992 マーストリヒト条約 1993 EU発足 1994 英仏海峡トンネル開通 1997 香港を中国へ返還 1998 北アイルランド和平合意 2003 イラク戦争</p>	<p>1868～1912 スコット(南極) 1881～1955 フレミング(ペニシリン) 1883～1946 ケインズ(近代経済学) 『雇用・利子及び貨幣の一般理論』 1856～1950 バーナート=ショー(劇作家) 1953 クリック、ワトソン(米)と DNA二重らせん構造を提唱 1872～1970 ラッセル(哲学・反核) 1960代 ビートルズが活躍 1889～1975 トインビー『歴史の研究』</p>

ハノーヴァー朝

ウィンザー朝